

今、なぜ環境を守らなければならないのか？

地球のいろいろな場所で、これまであたりまえのようにあった自然がなくなっています。これまでにないくらい、台風や雨の被害が多くなってきています。

ここで示す写真には、そうした世界中で起こっている「これまでになかった風景」が写されています。

台風でたおされた家、波でえぐられた砂浜、砂ばくに飲みこまれた電柱、死にかけの白いサンゴ、水が干上がった沼、立ったままかかれてしまった木…。

ほかにも、多くの「これまでにないこと」が世界中で起こってきています。





死にかけの白いサンゴ

写真提供：阿嘉島臨海研究所



水が干上がった沼

写真提供：阿嘉島臨海研究所



立ったままかれてしまった木

写真提供：阿嘉島臨海研究所

全国地球温暖化防止活動推進センターホームページより (<http://www.jccca.org/>)

地球の環境を考えていくとき、覚えておかななくてはいけない、とても大切なことがあります。

地球は丸く青くとても美しい星です。それは、海や空で世界中がつながっているということです。私たちの身近な環境、日々の生活が、遠い国で起きているできごととつながっています。

上の写真にある、こわしてしまったり壊れてしまった環境ともつながっているかもしれません。

この本で、なぜこうしたことが起こってしまったのか、私たちとどのように関係があるのか、そして、私たちにできることはどんなことがあるのかを考えていきましょう。

